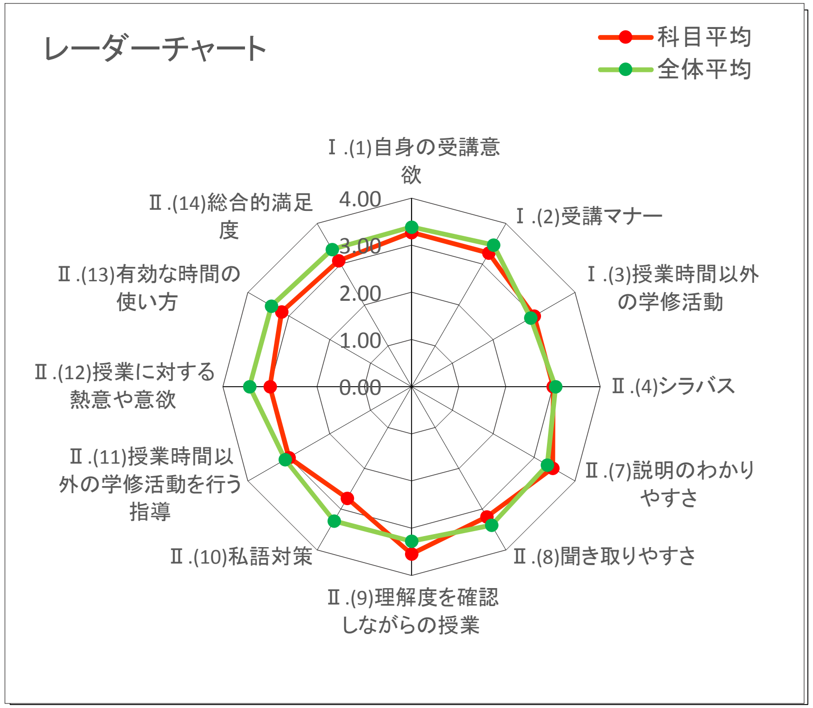
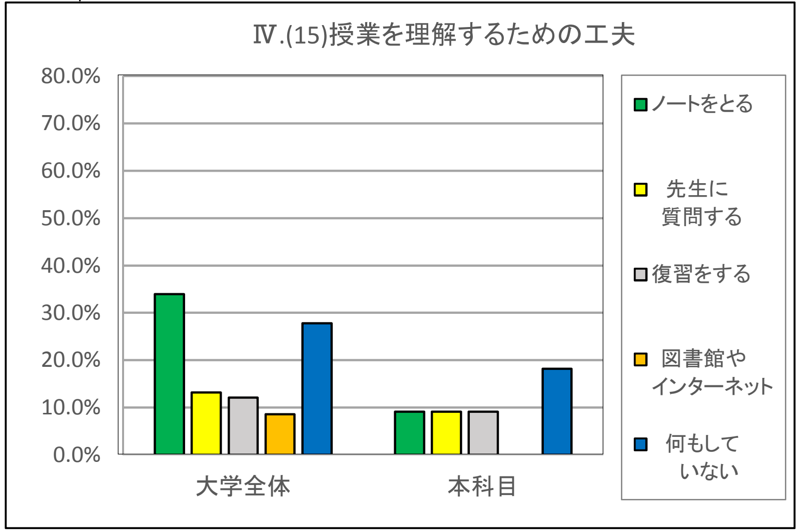
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
受講姿勢 自身の	Ⅰ.(1)	3.27	3.39
	Ⅰ.(2)	3.27	3.47
	Ⅰ.(3)	3.00	2.91
受講内容・方法	Ⅱ.(4)	3.00	3.05
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.45	3.32
	Ⅱ.(8)	3.18	3.39
	Ⅱ.(9)	3.55	3.27
	Ⅱ.(10)	2.73	3.28
	Ⅱ.(11)	3.00	3.09
	Ⅱ.(12)	3.00	3.43
	Ⅱ.(13)	3.18	3.43
満足度	Ⅱ.(14)	3.09	3.36

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.18	3.26
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.14	3.28
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.09	3.36

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　後期
時間割番号	32309
科目名	ITスキルアップⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

「ITリテラシーⅡ」は日商PC検定(データ活用)のBasic級、および、3級合格を授業目標に掲げ、講義を進めてきた。しかしながら、消費税の計算や割引率の計算といった表計算ソフトの操作スキル以前の部分でつまづく者が多く、合格率は低迷した。

②授業の進め方について

受講生のスキル水準がバラバラであること、授業目標を検定試験合格に置いていることから、全体講義は最初の数回のみで、それぞれの学生から質問等を受けながら指導を行う個別指導スタイルの授業方法をとった。ただ受講生が予想以上に多かったこと、また、受講生のスキルレベルの幅が広かったことから、十分に目を配ることができたとはいえない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

合格率の低さが満足度の低さに直結しているものと理解している。受講生数を考えれば、個別指導という授業スタイルは適切なものでなかったと考える。特に割引率や消費税、売上高の計算といった、表計算ソフトの操作以前の部分につまづく学生が予想以上に多く、そうした部分に割と時間を多くとられ、ピボットテーブルや小計といった実務での使用頻度が高いスキルの習得に充てる時間がほとんど取れなかったことが悔やまれる。次年度は担当者とクラスが増える予定であることから、こうした部分は多少なりとも解消されるものと期待している。

奈良学園大学